

富士山花火 vs スピードウェイ 2027

花火プログラム“RESONANCE – 共鳴”全5章の構成が決定

ドリフトの轟音で幕開けるプログラム / 一般早割チケット11月4日(水)より販売開始

日時：2027年4月3日(土) 会場：富士スピードウェイ

富士山花火実行委員会は、2027年4月3日(土)に富士スピードウェイにて開催する「富士山花火 vs スピードウェイ2027」の花火プログラムを決定いたしました。

節目となる第5回のテーマは“RESONANCE – 共鳴”。日本花火の最高峰4社がそれぞれの美意識と技をぶつけ合い、富士の夜空に全5章の一夜限りの物語を描き出します。さらに、1.5kmのホームストレートを舞台にしたモータースポーツとの轟音共演や、夜空を覆い尽くす圧巻の二尺玉など、この場所でしか体感できない挑戦が詰まったプログラムとなっています。

あわせて、11月4日(水)より一部人気席種を10%OFFで提供する「一般早割チケット」の販売を開始いたします。



▲キービジュアル



▲2026年開催時の様子

「富士山花火 vs スピードウェイ2027」の花火プログラムが決定

「富士山花火 vs スピードウェイ2027」の花火プログラムは、テーマ“RESONANCE – 共鳴”を、「出会う」「重なる」「響く」「ひらく」「その先へ」の全5章と特別企画で描きます。

それぞれの個性が際立つほど、響き合う世界は豊かになる。

花火師が磨いてきた技と美意識、音楽が呼び起こす感情、一人ひとりが胸に抱く想い。

それらが出会い、響き合うことで、美しい世界が織りなされていく。

各章に息づく異なる輝きが、富士の夜空に一夜の物語を描く。

各章は、日本花火の「4つの最高峰」、株式会社イケブン、株式会社丸玉屋小勝煙火店、有限会社片貝煙火工業、野村花火工業株式会社がそれぞれ担当します。

【第1章】ENCOUNTER / 出会う（担当：株式会社イケブン × FORMULA DRIFT JAPAN）

すべては、異なるもの同士の「出会い」から始まる。
富士山の麓に広がるサーキット。
走る車、響くエンジン音、訪れる人々、そして夜空を彩る花火。
一日の時間が進むにつれて、それぞれの世界が少しずつ近づいていく。
異なるものが、この場所で再び出会う。

【第2章】OVERLAP / 重なる（担当：株式会社丸玉屋小勝煙火店）

夜空に放たれた一つひとつの光が、次の光を呼び、
またその光が次の瞬間をつくりだす。
大きく開く光。静かに広がる光。一瞬で消える光。長く夜空に残る光。
異なる輝きが幾重にも重なることで、点だった光は、やがて一つの大きな景色へと変わる。
重なり合う光が、夜空に新しい物語を描いていく。

【第3章】RESONATE / 響く（担当：有限会社片貝煙火工業）

重なり合った光が、互いに呼応し始める。
一つの花火が開く。その光が夜空を満たし、次の花火へとつながっていく。
響き渡る音。夜空を走る光。次々と開く花火。
一つひとつの光が互いを引き立て、その瞬間、その瞬間の感動をさらに大きくしていく。
やがて、ひとつの花火では生まれなかった大きな光のうねりとなって、夜空いっぱいに広がっていく。
光と光が響き合い、夜空に大きな感動を生み出していく。

＜「星に願いを」プロジェクト / “Wish upon a star” Project＞（担当：野村花火工業株式会社）

各種SNSから「#富士山花火 #星に願いを」のハッシュタグをつけて、メッセージや願いをご投稿ください
（写真やイラストの投稿も歓迎です）。お寄せいただいたメッセージの中から数点を選び、花火本編プログラムの中で読み上げるほか、公式サイトでもご紹介します。

【特別企画】追悼 / 祈りを捧げる（担当：有限会社片貝煙火工業）

【第4章】UNFOLD / ひらく（担当：野村花火工業株式会社）

一瞬の光が、夜空に大きくひらく。
小さく咲く光から、夜空を覆うほど大きな光へ。
高く、遠く、そして大きく。
花火はその姿を変えながら、夜空に描く世界を次々とひらいていく。
一輪の輝きが、次の輝きを生み、やがて無数の光が夜空いっぱいに広がっていく。
ひらくたびに、花火は新しい夜空をつくっていく。

【第5章】BEYOND / その先へ（担当：株式会社イケブン）

すべてが響き合った先に、新しいものが生まれる。
花火と車。富士山とサーキット。伝統と革新。花火師、音楽と光。そして、観客とこの場所。
それぞれが違うからこそ、出会い、重なり、響き合った先に、ここでしか生まれない景色がある。
それは、ただ「見る」花火ではなく、一日を通して体験したすべてが重なって生まれる、
2027年、この場所だけの新しい花火。
そして、その新しい景色が次の未来へとつながっていく。
響き合うすべてが、未来になる。

※「星に願いを」、「第5章のフィナーレ」で二尺玉の打ち揚げを担当するのは片貝煙火工業となります。

大迫力のドリフトパフォーマンスで、花火プログラムが幕を開ける

花火プログラムは、大迫力のドリフトパフォーマンスで幕を開けます。第1章「出会う」のオープニングアクトとして、「FORMULA DRIFT JAPAN」のマシンが黄昏の富士スピードウェイを駆け、株式会社イケブンの花火と共演。タイヤの白煙とエンジン音、そして夜空に立ち上がる光。車と花火という二つの異なる世界が出会う瞬間から、一夜の物語が始まります。



FORMULA DRIFT JAPANとは？

FORMULA DRIFT JAPAN（フォーミュラドリフトジャパン / 略称：FDJ）は、日本発祥のモータースポーツである「ドリフト」を、世界基準のルールと大迫力のエンターテインメントとして昇華させた競技最高峰のシリーズ戦です。

単に速さを競うタイムレースとは異なり、「いかに高度なマシンコントロールで、美しくダイナミックに車を滑らせて走るか」を採点して勝敗を決定します。

当日のサーキット タイムスケジュール（予定）

- 11:30～12:30 （関係者のみ入場可）バイカーズパラダイス サーキット走行（約200台）
- 12:30～13:30 （関係者のみ入場可）一般車体験走行（約100台）
- 13:00 ゲートOPEN（一般のお客様入場開始）
- 13:30～14:30 バス体験走行（旅行代理店ツアー）

※時間・内容は予定であり、変更になる場合があります。出走車両・ドライバーなどの詳細は決定次第、公式サイト・公式SNSにてお知らせします。

11月4日(水)より、全国対象の「一般早割チケット」を販売開始

「富士山花火 vs スピードウェイ 2027」のチケットは、11月4日(水)から12月2日(水)まで、全国を対象とした一般早割チケットとして一部券種を10%OFFで販売します。アソビュー、イープラス、チケットぴあ、楽天エクスペリエンス、ローチケ、他、各種プレイガイドにてお買い求めいただけます。

※席種・料金などの詳細は、公式サイト「チケットページ」をご覧ください。

前回完売の人気エリアを増席・台数拡大。対象3券種は一般早割で10%OFF

前回（2026年4月開催）は、パドック内のリクライニングチェア席、全種類のカメラ席、ドライブイン系の観覧エリアが完売しました。

好評を受け、今回は「パノラマリクライニングチェア」「エキサイティング花火直下エリア リクライニングチェア」を増席。さらに、「花火ピクニックエリア（駐車場付）」は、受け入れ可能な車両台数を拡大しました。

この3券種はいずれも、11月4日(水)から12月2日(水)までの一般早割で通常料金の10%OFFとなります。ご希望の観覧エリアは、お早めにお買い求めください。

※料金などの詳細は、公式サイト「チケットページ」をご覧ください。

販売開始後、売り切れが早い人気エリアランキング

過去4回の開催で、販売開始後に完売が早かったエリアのTOP4です。ぜひお早めにお買い求めください。

- 1位 最前列確約 ドライブイン花火
- 2位 カメラ席（グラウンドスタンド内ボックス席、カメラ席富士山ビュー）
- 3位 ドライブイン花火
- 4位 パノラマリクライニングチェア ※今年は大幅増席

富士山花火 vs スピードウェイ

売り切れが早いエリアランキング

—— 過去4回で早く売り切れたエリアTOP4 ——

1位

最前列確約 ドライブイン花火

最前列確約で視界を遮るものなし。車内からも車外からも、ゆったり落ち着いて花火を独り占めできる席です。

2位

カメラ席（グラウンドスタンド内ボックス席）

花火の打上地点を真正面から狙える撮影専用BOX席。
三脚や機材を区画内に広げ、撮影に集中できます。

3位

ドライブイン花火

車のまま入場し、歩かずに過ごせるから、
お子さまから高齢の方まで安心です。

4位

パノラマ リクライニングチェア

リクライニングで空を仰ぎ、
コース幅いっぱいに広がる花火を一望。

今年は
大幅増席！

花火師が語る、観覧席の選び方と楽しみ方

富士山花火 vs スピードウェイ2027の花火プログラムを手がける花火師たちに、観覧席からの見え方や、それぞれの席ならではの楽しみ方について聞きました。

株式会社イケブン 上田工場長

「俯瞰か、迫力か」 見渡す楽しさと、包まれる楽しさ

「U-23第1コーナースタンド熱響エリアは、花火の全体を俯瞰して見渡せて、ゆったりと観覧できる場所だと思います。以前からおすすめていたエリアの一つですね。

また、グランドスタンド席の2階、特に前方の視界が開けた場所もおすすめです。花火全体の広がりに加えて、ホームストレートを走る車やサーキットの様子も見下ろすように楽しめます。

打上場所に近いパドック内の観覧エリアは、花火の迫力と、花火に包み込まれるような感覚が魅力だと思います。一方、グランドスタンド席では、屋根やスタンドの構造によって、花火の音が回り込むような感じがあって、また違った迫力が楽しめるんです。

花火と車の演出を広く見渡して鑑賞する楽しさと、打上場所の近くで花火の迫力を間近に体感する楽しさ。それぞれに違った魅力があると思います。」

野村花火工業株式会社 野村社長

「花火のプラネタリウム」 リクライニングチェア席ならではの没入体験

実際に花火直下のリクライニングチェア席で観覧した野村社長は、その体験を次のように語ります。

「ゆったり横になって、宇宙を見ているような感じ。夜空に吸い込まれるような。花火のプラネタリウムみたいですね。」

株式会社丸玉屋小勝煙火店 小勝社長

「音楽と花火の広がり」 プログラム制作者が教える観賞のポイント

花火の演出・構成を手がける立場から、観覧位置を選ぶ際のポイントについて語ります。

「花火のプログラムは、基本的に正面中央から見た光景をイメージして制作しています。音楽が聞こえること、花火が左右に広がる展開幅を見渡せること。この二つが、演出を楽しむポイントですね。」

有限会社片貝煙火工業 本田社長

「全てが特等席」 迫力か、全景か。自分の好みで選ぶ観覧席

花火の全景をアートとして楽しむ観覧と、間近で音や迫力を身体で感じる観覧。それぞれに異なる魅力があると語ります。

「富士スピードウェイの場合は、いろいろな場所から、それぞれ違った楽しみ方ができるということです。そういう意味では、全てが特等席なんです。あとは、ご自身がどんなふうに花火を楽しみたいか。それを考えながら観覧席を選んでいただければいいのではないのでしょうか。」

ふるさと納税では、一般販売に先駆けて観覧チケットを受付中！

11月4日(水)の一般早割チケット販売開始に先駆け、現在、ふるさと納税の返礼品として観覧チケットのお申し込みを受け付けています。

グラウンドスタンド席をはじめ、リクライニングチェア席、カメラ席、ドライブイン花火など、多彩な観覧エリアをご用意。富士山麓の地域を応援しながら、一般販売よりひと足早く観覧チケットを確保いただけます。※所定の寄附金額やお申し込み条件、対象券種などの詳細は公式サイト「ふるさと納税ページ」をご確認ください。

御殿場市・小山町・裾野市の各観光協会でもグラウンドスタンド席を販売

グラウンドスタンド席（自由席）は、御殿場市観光協会、小山町観光協会、裾野市観光協会の窓口でもお買い求めいただけます。

「富士山花火 vs スピードウェイ2027」開催概要

- タイトル : 富士山花火 vs スピードウェイ2027
- 開催日時 : 2027年4月3日(土) 開演13:00 / 花火開始 18:30 / 終演 20:00(予定)
※荒天の場合中止
- 開催場所 : 富士スピードウェイ <https://www.fsw.tv/>
〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
- 公式サイト : <https://fujisanhanabi.com/fujimotorsportsforest/>
- 公式SNS : X <https://x.com/fujisanhanabi>
Instagram <https://www.instagram.com/fujisanhanabi/>
YouTube <https://www.youtube.com/@fujisanhanabi>
Facebook <https://www.facebook.com/fujisanhanabi.official>
TikTok <https://www.tiktok.com/@fujisanhanabi.com>
- 花火 : 最大2尺玉
株式会社イケブン <https://www.ikebun.com/>
有限会社片貝煙火工業 <https://www.katakai-enka.co.jp/>
野村花火工業株式会社 <https://nomurahanabi.jp/>
株式会社丸玉屋小勝煙火店 <http://www.mof.co.jp/>
- プレイガイド : アソビュー、イープラス、チケットぴあ、LINE、楽天エクスペリエンス、ローチケ、他
- チケット : ①「地域特別割」 10月5日(月)～11月3日(火)
小山町・御殿場市・裾野市在住・在勤の方対象
詳細情報は各世帯・各社への配布フライヤーにてご確認ください。
②一般早割 11月4日(水)～12月2日(水)
全国対象 一部券種を10%OFFで販売いたします。
③一般販売 12月3日(木)～4月3日(土)17:00
- 旅行代理店ツアー : クラブツーリズム、富士急トラベル、ローチケトラベル、HIS、JTB、阪急交通社、他
旅行代理店でのツアー予約開始日は、公式サイト、各種公式SNS、プレスリリースをご確認ください。
- 主催 : 富士山花火実行委員会（富士山花火実行委員会株式会社、富士モータースポーツフォレスト株式会社、富士スピードウェイ株式会社）
- メディアパートナー : テレビ神奈川、FMヨコハマ
- 後援 : 静岡県観光協会、小山町、小山町モータースポーツ協力会、小山町観光協会、小山町商工会、御殿場市、御殿場市観光協会、御殿場市商工会、裾野市、裾野市観光協会、裾野市商工会、株式会社エフエム御殿場、まちづくり公社おやま、静岡新聞社・静岡放送 他 ※調整中
- 協賛 : アソビュー株式会社、株式会社ローソンエンタテインメント 他
- 協力 : 株式会社オールアバウト、株式会社キキバーブ、株式会社SHIRO、David J. Production Co., Ltd.、株式会社バイカーズパラダイス、株式会社ファンタベイス、株式会社4TR、
- 撮影 : 瀬尾浩司、株式会社DRONE47、株式会社ブレイン コミュニケーションズ

〈本件に関する報道関係様からのお問合せ先〉

「富士山花火 vs スピードウェイ2027」PR事務局

(株式会社ハイライト内) 担当：山口、丸山

TEL：03-4500-2346 MAIL：fmsf@high-light.co.jp